

答申に向けての論点整理

「長期にわたり使用可能な質の高い住宅を整備・普及させていくための方策について」

I 住宅政策をめぐる背景と政策の変遷

1. 住宅政策をめぐる背景
2. 住生活基本法の制定、住生活基本計画の決定
 - ・量の確保から質の向上への移行
 - ・市場重視・ストック重視へ

II 長期にわたり使用可能な質の高い住宅をめぐる現状・課題と対応の方向性

1. 長期にわたり使用可能な質の高い住宅の整備・普及をめぐる現状・課題とその必要性
 - ・住居費負担
 - ・環境負荷
2. 長期にわたり使用可能な質の高い住宅の整備・普及させていくための基本的な考え方
 - ・長期にわたり使用可能な質の高い住宅の建設の促進
 - ・住宅の維持保全の促進
 - ・既存住宅の流通の促進

III 長期にわたり使用可能な質の高い住宅を整備・普及のために講ずべき方策

1. 建設段階（維持管理・流通にも配慮）における施策
 - ・長期にわたり使用可能な質の高い住宅のイメージの共有
 - ・モデル事業による普及・啓発
 - ・住宅履歴書の整備

2. 維持管理段階における施策
 - ・住宅の定期的な点検、補修、交換等の実施（住宅履歴書の整備）
 - ・住宅のリフォーム支援体制の整備
 - ・住宅の管理体制の整備
3. 流通段階における施策
 - ・既存住宅の性能・品質に関する評価の充実及び活用
 - ・既存住宅の取引情報の充実
 - ・住替え・二地域居住の支援
4. 良好なまちなみの形成・維持に向けた施策
 - ・規制・誘導措置の活用
 - ・住宅地のマネジメントのための活動を行う担い手の育成・支援
5. 長期にわたり使用可能な質の高い住宅の普及に向けての啓発
 - ・長期にわたり使用可能な質の高い住宅の建設・維持管理・流通を担う人材の育成
 - ・国民に対する情報提供、教育・啓発活動の充実